

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：園芸特産物対策費

事業名 花と緑の振興コンソーシアム(仮称)運営負担金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 花き係 電話番号：058-272-1111 (内 2866)

E-mail：c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,500千円 (前年度予算額：9,500千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	9,500	0	0	0	0	0	0	0	9,500
要求額	9,500	0	0	0	0	0	0	0	9,500
決定額	9,500	0	0	0	0	0	0	0	9,500

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県では「花きの振興に関する条例」に基づき令和2年度中に第2期「清流の国ぎふ花き振興計画」を策定する。

本計画では、県民の生活のあらゆる場面において花きが活用され、県民一人ひとりに来県者を花きでおもてなしする心が育まれるよう、様々な施策に取り組むこととし、本計画において「花と緑の振興コンソーシアム(仮称)」を花き振興の推進母体として位置付け、当団体が行う「花きの日PR」をはじめとした各種事業の推進等を支援する。

(2) 事業内容

ア. 花きの日PR

花きの振興に関する条例で定めた「花きの日(8月7日)」を県民に周知し、県民に花きへの関心と理解を深めていただき、花きの利用や消費の拡大の気運を高めるため、県内各地でPRイベントを開催する。

イ. 県産花きの輸出に向けた調査

海外に向けた情報発信と輸出拡大を図るため、香港への県産花き輸出に向け

た現地プロモーションを実施するとともに、中国江西省交流事業の一環としての情報や技術の交流を行う。

ウ. ぎふフラワーフェスティバルの開催

10月の土日に「ぎふフラワーフェスティバル」を開催し、県民に日常生活のあらゆる場面で花きを活用してもらうとともに、花きが人の心に潤いと安らぎを与える効果があることを体感してもらうことにより花きの振興を図る。

エ. 高校生花いけバトル岐阜県大会

香川県で開催される全国大会への出場権を獲得できる岐阜県予選と位置付け、県民の花きへの関心を高めることを目的に開催する。

<競技の概要>

バトラーと称される花いけ者が、同じ花材を使って即興5分で花をいける。観客は作品の美しさとバトラーの所作を総合して素晴らしいと思う花いけ者の札を掲げ、その数で勝者を決める。

(3) 県負担・補助率の考え方

県の花き業界が企業、メディア、研究・教育、金融機関、造園、JA、行政など幅広い分野のメンバーと連携事業を行う「花と緑の振興コンソーシアム（仮称）」は、花き業界全体の活性化を図るとともに、県の花き振興に取り組むために設置する予定の団体であり、花きの活用により県民の健康で心豊かな生活の実現を目指す県条例の目的に沿って活動していることから、県の参画が妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	9,500	花と緑の振興コンソーシアム（仮称）運営負担金
合計	9,500	

決定額の考え方

事業評価調書

新規要求事業
 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・ 県民が花きの文化に親しみ、生活に花きを取り入れるなど、県民の花きの購入及び活用する機会を増やす。
- ・ 花きの海外輸出を推進し、輸出金額を増やす。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値	目標	達成率
家計調査(切り花)※	9,006円 (H27)	8,019円 (H30)	8,270円 (R1)	10,665円 (R4)	77.5%
花き輸出額	1,335千円 (H26)	12,856千円 (H30)	50,836千円 (R1)	100,000千円 (R3)	50.8%

※総務省「家計調査」の岐阜市、2人以上の世帯の支出額

○指標を設定することができない場合の理由

(前年度の取組)

- ・ 「花きの日」(8月7日)を県民に周知するため、県内5圏域の商業施設において、8月3日(月)から8月16日(日)の期間、県産花きの紹介コーナーを設置し、花きの日のPRを行った。
- ・ フラワーフェスティバルを11月28日(土)、29日(日)に岐阜市内大型商業施設で開催。各文化団体がインスタ映えを意識した撮影スポットとなる花かざりを制作展示した他、県の試験研究機関などの展示などを行う予定。

(前年度の成果)

- ・ 「花きの日」PRによって、県民に花きへの関心と理解を深めた。
- ・ ぎふフラワーフェスティバルでは、大小のフラワーディスプレイをはじめ、各種花飾り体験、各種コンテストなど来場者に花の魅力を伝える催事を実施し、日常生活で花が活用されるようPRする予定。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	<p>フラワーフェスティバルなど花き関連催事を通して、花・植物の効果効用を認識し、花きに親しむ機会をつくることにより県民の花きへの活用が促進されるだけでなく、県産花きをPRすることができる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	<p>県民の花き園芸用品の購入額が増加し、県産花き輸出金額も増加している。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	<p>花き関係団体と協力して事業を実施することにより効率化が図られている。</p>

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>事業をより効果的に進めていくためには、関係機関・団体が連携し一体となった取り組みを展開していかなければならない。</p> <p>また、異業種との連携も積極的に行い、花卉の需要拡大に向けた取り組みをしていく必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>岐阜県花きの振興に関する条例、清流の国ぎふ花き振興計画に基づき、花き関係団体と連携し、県民のニーズに応えられるよう、県内花き生産者の経営安定化により安定的に花きが生産できる体制を維持する。</p>

他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【○○課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	